

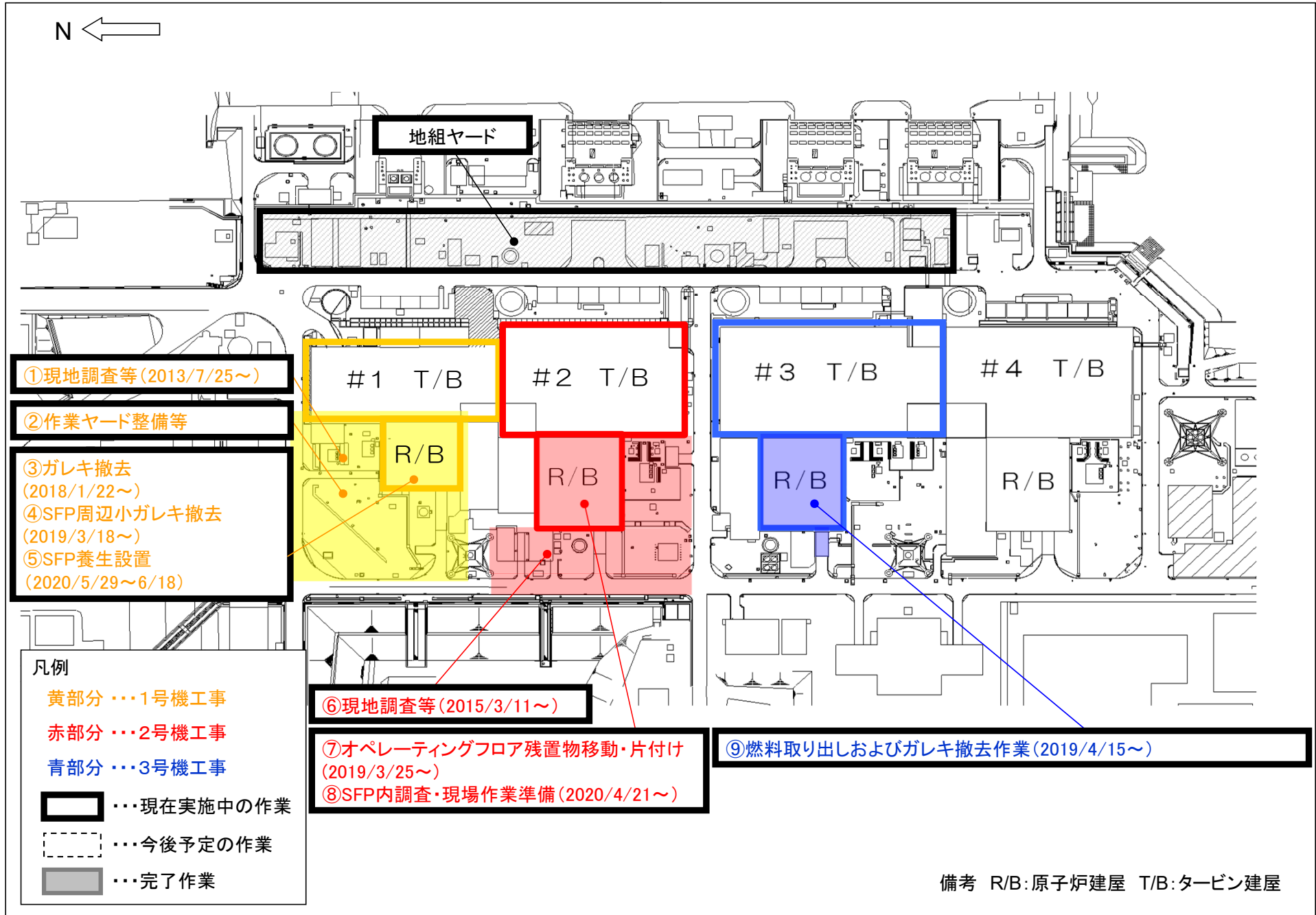
使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月		7月				8月			9月			10月	備考		
				28	5	12	19	26	2	9	16	下	上	中	下				
使用済燃料プール対策	カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取り出し方法の基本検討 現地調査等 作業ヤード整備 ガレキ撤去 SFP周辺小ガレキ撤去 FHM下部支障物撤去 SFPゲートカバー設置 SFP養生設置 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取り出し方法の基本検討 現地調査等 作業ヤード整備 ガレキ撤去 SFP周辺小ガレキ撤去 	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計													<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ガレキ撤去 ・ガレキ撤去：'18/1/22~ ・Xブレース撤去：'18/9/19~'18/12/20 ・機器ハッチ養生：'19/1/11~'19/3/6 ・屋根鉄骨分断：'19/2/5~'19/2/22 ・SFP周辺小ガレキ撤去：'19/3/18~ ・ウェルフラグ調査：'19/7/17~'19/8/26 ・SFP内干渉物等調査：'19/8/2、'19/9/4~6、9/20、27 ・ウェルフラグ上のH鋼撤去：'19/8/28 ・FHM下部支障物撤去：'20/3/3~'20/3/14 ・SFPゲートカバー設置：'20/3/16~'20/3/18 ・SFP養生設置（準備作業）：'20/3/20~'20/5/28 ・SFP養生設置（循環停止）：'20/5/29 ・SFP養生設置（SFP水位低下作業）：'20/5/30~'20/6/18 ・SFP養生設置（SFP水位回復、循環再開）：'20/6/18 ・FHM支保設置（準備作業含む）：'20/9中~ ・天井クレーン支保設置（準備作業含む）：'20/10中~ <p>【規制庁関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペレーティングフロア床上加レキの一部撤去等 実施計画変更認可 2019/3/1 <p>※○番号は、別紙配置図と対応</p>	
				現場作業	①現地調査等（'13/7/25~）	②作業ヤード整備等	③ガレキ撤去	④SFP周辺小ガレキ撤去（西側）	FHM支保設置（準備作業含む） 天井クレーン支保設置（準備作業含む） 最新工程を反映										
	周辺環境	海洋汚染防止対策等	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/2Rw/B床面清掃 浄化材製作・設置 1/2Rw/B屋根ガレキ撤去 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/2Rw/B床面清掃 浄化材製作・設置 1/2Rw/B屋根ガレキ撤去 	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計													<p>【主要工程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31 ・ヤード整備工事：'15/3/11~'16/11/30 ・西側構台設置工事：'16/9/28~'17/2/18 ・前室設置工事：'17/3/3~'17/5/16 ・屋根保護層撤去（遺構重機作業）：'18/1/22~'18/5/11 ・オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16~'18/6/21 ・鉄骨トラス状況確認：'18/2/28~'18/3/17 ・オペレーティングフロア調査：'18/6/25~'18/7/18 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け：'18/8/23~'18/11/6 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と片付け：'18/11/14~'19/2/28 ・西側構台設備点検：'19/2/13~'19/3/26 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その2）：'19/3/25~'19/8/27 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その3）：'19/9/10~'20/2/25 ・SFP内調査：'20/4/27~'20/6/30（調査：'20/6/10~'20/6/11） ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け（その4）：'20/3/2~'20/11/下 <p>【規制庁関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可（2017/12/21） ・燃料取り出し用構台 実施計画変更申請（2020/11） ・燃料取扱設備 実施計画変更申請（2020/12） <p>※○番号は、別紙配置図と対応</p>	
現場作業				⑤現地調査等	⑥オペレーティングフロア残置物移動・片付け	残置物移動・片付け（その4） 搬出作業習熟訓練	最新工程を反映	コンテナ搬出準備作業	コンテナ搬出										

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	6月				7月				8月				9月		10月	備考	
				28	5	12	19	26	2	9	16	下	上	中	下	期	末			
使用済燃料プール対策	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機の設計・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等	1号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計														【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 ・燃料取り出し計画の選択：'19/12/19	
			2号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計															【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31
			3号機 (実績) ・クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し (予定) ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し	検討・設計	③燃料取り出しおよびガレキ撤去作業 ガレキ撤去・燃料健全性確認															【主要工程】 ○クレーン/燃料取扱機等設置点検： ・燃料取扱設備点検：'20/3/30~20/4/26 ○燃料取り出しおよびガレキ撤去作業： ・訓練、ガレキ撤去：'19/3/15~ ・燃料取り出し：'19/4/15~ ・追加訓練：'20/4/27~20/5/23 【規制庁関連】 ・3号機燃料取り出し、燃料の取り扱い及び構内用輸送容器実施計画変更認可申請（2018/3/27） 実施計画変更認可申請の一部補正（2019/2/15） 実施計画変更認可申請の認可（2019/3/12） ・3号機プール内小ガレキ撤去、エリアモニタ、ダストモニタ実施計画変更認可申請の一部補正（2018/4/13）、認可（6/8） ・3号機損傷・変形等燃料用輸送容器実施計画変更認可申請（2019/8/20）
共用プール	燃料受け入れ	(実績) ・3号機燃料受け入れ (予定) ・3号機燃料受け入れ	現場作業	3号機燃料受け入れ														【主要工程】 ○共用プール設備点検： ・クレーン点検：'20/3/30~20/4/4 ・燃料取扱機点検：'20/4/1~20/4/28 ・燃料ラック取替：'20/4/20~20/5/26 【規制庁関連】 ・共用プール損傷・変形等燃料ラック実施計画変更認可申請（2019/7/11） 実施計画変更申請の認可（2020/4/8）		

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



2号機原子炉建屋 オペフロ内残置物移動・片付の状況について

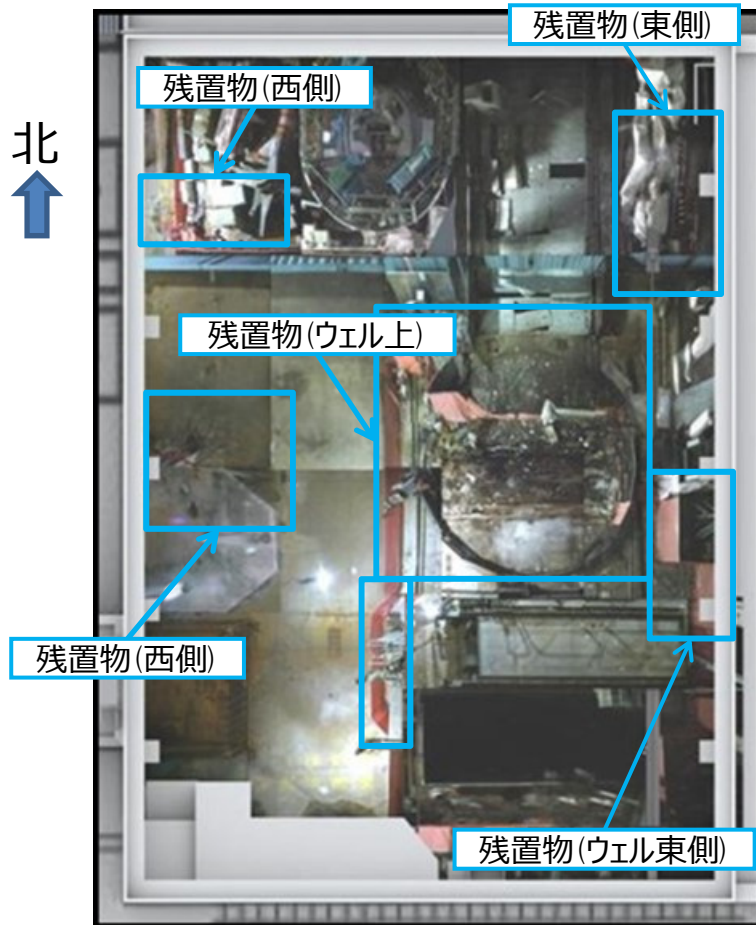
2020/7/30

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 経緯

- 2018年8月から2号機使用済燃料プール内の燃料取出しに向け、原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロという）において燃料取扱設備の設置等に干渉となる残置物等を遠隔無人重機を用いて移動・片付、清掃を実施。



片付け作業前のオペフロ状況

遠隔無人重機・ロボット



BROKK400D

主な役割

- ・残置物（大物）の片付
- ・フェンスの切断・片付 等



BROKK100D

主な役割

- ・残置物（小物）の片付
- ・フェンスの切断・片付 等



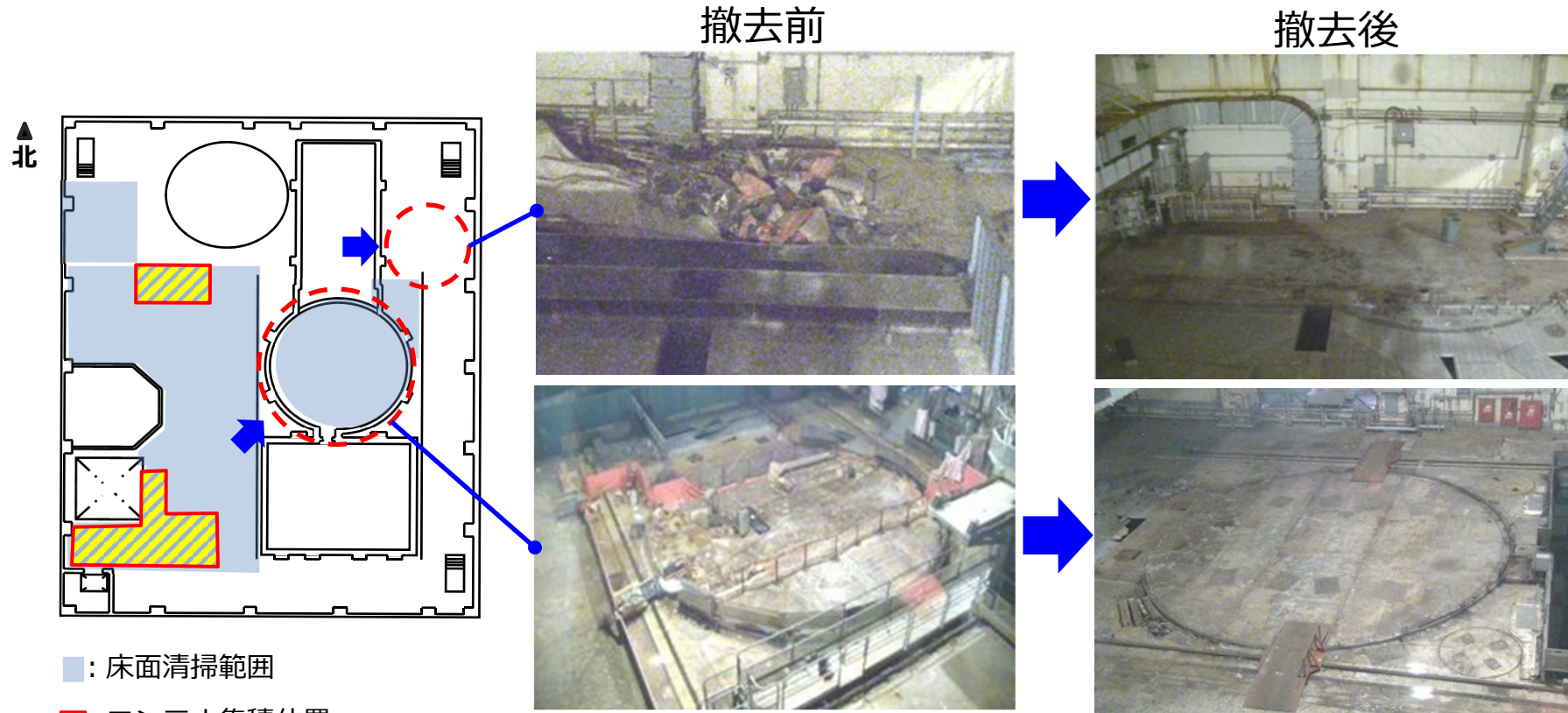
Kobra（左） Packbot（右）

主な役割

- ・残置物（小物）の片付
- ・BROKKが作業する上で死角になる箇所へのカメラワーク（作業状況により導入）

2. 残置物等の移動・片付, 清掃状況

- 現時点のオペフロ状況を示す。残置物を収納コンテナに44基分収納済み。



- : 床面清掃範囲
- : コンテナ集積位置
- ➡: 撮影方向

収納コンテナ集積状況

収納コンテナ



3. 収納コンテナの搬出

- これまで、収納コンテナ搬出作業の訓練を実施。
- 収納コンテナを搬出用コンテナに2台収納した後、オペフロ上から搬出し、固体廃棄物貯蔵庫に運搬・貯蔵。

搬出作業用重機 (ZX135)



収納訓練

搬出作業訓練状況

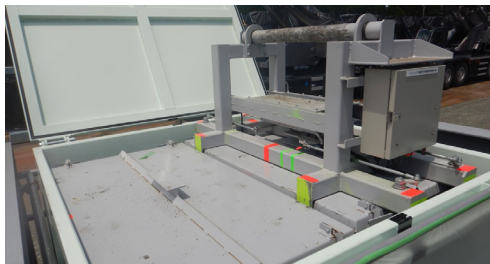


玉掛け・吊り上げ訓練

搬出用コンテナ



搬入・搬出訓練



収納状況

【参考】搬出作業手順

- ① 搬出用コンテナ養生
- ② 搬出用コンテナ吊り上げ・西側構台前室に搬入
- ③ 収納コンテナを搬出用コンテナに収納
- ④ 搬出用コンテナ汚染検査・搬出用コンテナ養生撤去・西側構台外に搬出
- ⑤ 搬出用コンテナ無人玉掛け・吊降ろし
- ⑥ 固体廃棄物貯蔵庫に運搬・貯蔵

4. 今後のスケジュール

- 現在, 収納コンテナ搬出に向けた準備作業を実施中。
- 準備が整い次第2020年8月初旬より,収納コンテナ搬出作業を開始する予定。

作業スケジュール

	2020年							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
搬出作業訓練	■							
搬出作業準備		■						
残置物収納コンテナ搬出			■					

3号機 燃料取り出しの状況について

2020年7月30日

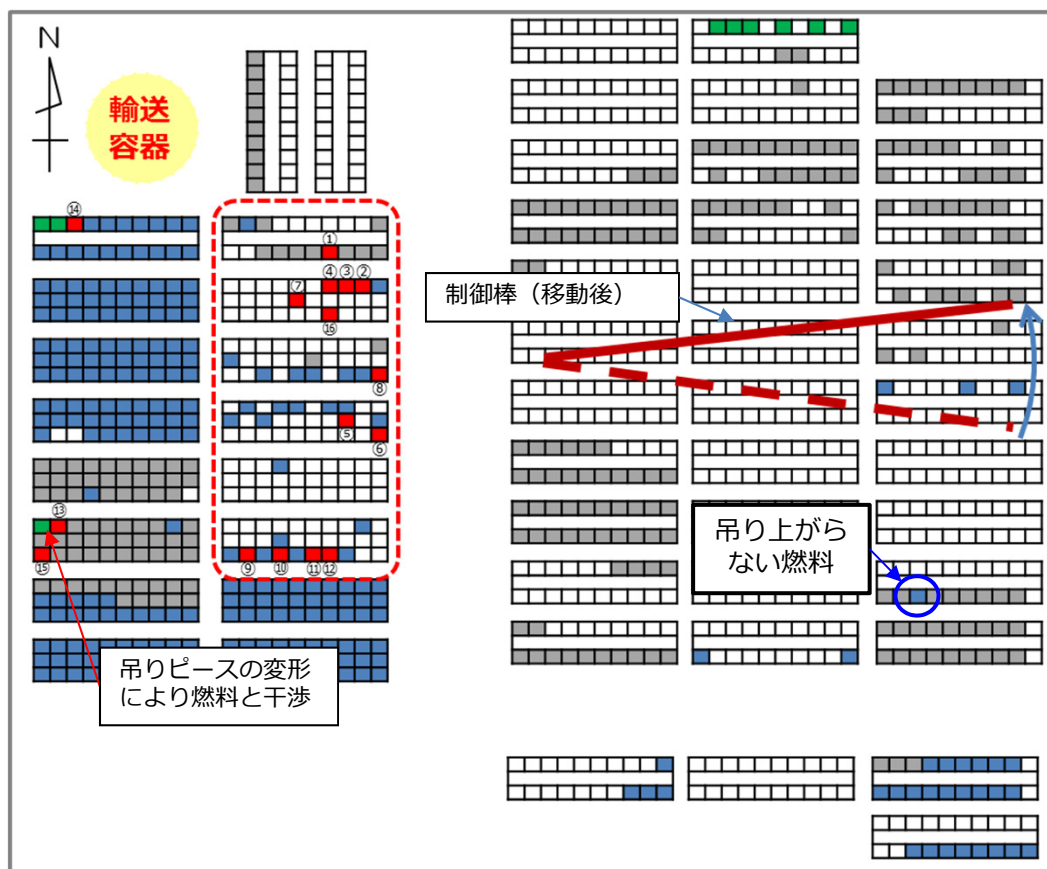
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

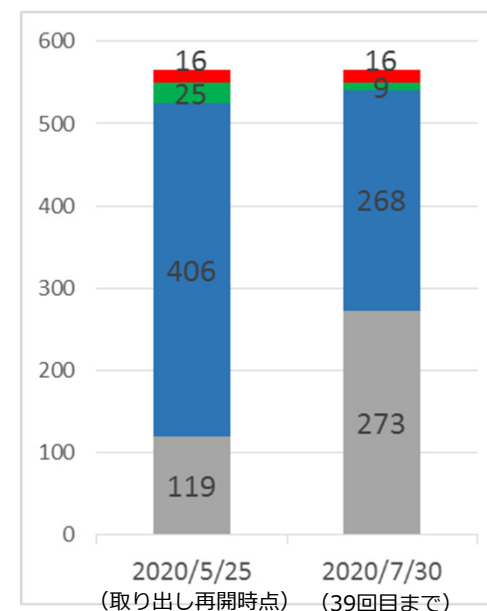
1. 燃料取り出し・ガレキ撤去の状況

- 2020年7月30日朝時点,計266体※/全566体の取り出しを完了している。
- 2020年7月19日,燃料ラック上に横たわった制御棒の北側への移動を実施。

※：共用プールへ輸送中の7体分を含まない体数。



3号機使用済燃料プール（39回目までの取り出し状況を反映）



- : ハンドル変形燃料
- : ガレキ撤去中
- : ガレキ撤去完了
- : 燃料取り出し済
- : 燃料が入っていないラック
- : 燃料交換機, コンクリートハッチが落下したエリア
- ①~⑯ : ハンドル変形燃料No. (8ページ参照)

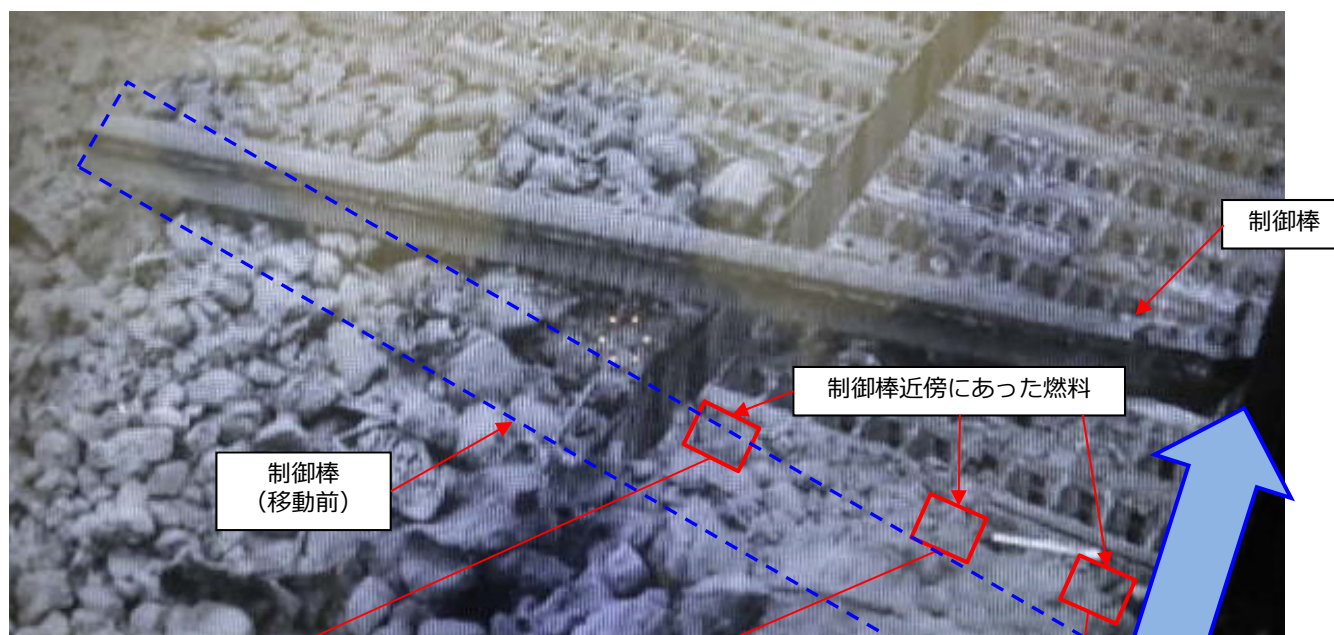
2. 燃料取扱い時の課題と対応

- ガレキ撤去中に確認した事項やハンドル変形燃料取扱いに関する課題について、下表のとおり対応を検討中

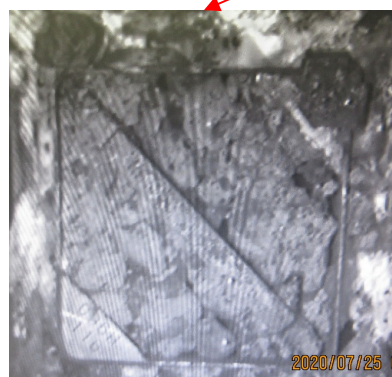
項目	課題	対策案	状況
① ガレキ撤去中に確認した事項	①-1 変形した燃料ラック吊りピースが燃料掴み具と干渉	燃料ラック吊りピースを曲げ戻す	<ul style="list-style-type: none"> ・装置設計検討中 ・周囲の燃料を優先的に取り出し中
	①-2 (済) 制御棒の再移動	制御棒を北に再移動させる	<ul style="list-style-type: none"> ・制御棒の再移動実施 →3ページ参照
② 吊り上げ試験の結果を踏まえた対応	②-1 輸送容器洗浄配管とマストとの干渉	マストは無負荷時は南側に若干偏心しているため、マニピュレータ等の補助によりマストの偏心を解消し、取り出しを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・マニピュレータで補助する手順を確認済 →4ページ参照
	②-2 燃料とガレキまたはラックとの干渉解除	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬体によるハンドル強度試験を行い、吊り上げ荷重を増加 ・チャンネルボックスとラック上部の隙間に残っているガレキの掻き出し ・チャンネルボックスとラックの間に高圧水や圧縮空気を注入 ・ラック切断、ラック押し広げによるチャンネルボックスとラックの隙間の確保 上記対策案に対し、作業難易度等を考慮して実施順序を検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・強度試験準備中 ・新規装置について設計検討中
③ 規定荷重で取り出せない変形の無い燃料の対応	③-1 燃料とガレキまたはラックとの干渉解除	吊り上げ荷重の増加を除き、②-2と同一の対策を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・同上
④ ハンドル変形燃料の対応	④-1 ハンドル変形の角度が大きい燃料を把持できる掴み具	<ul style="list-style-type: none"> ・新規掴み具の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作中
	④-2 ハンドル変形の角度が大きい燃料を収納できる収納缶	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドル変形燃料の構内輸送器に収納 ・内寸の大きい収納缶による輸送 ・収納缶の輸送に対応した輸送容器バスケット改造、収納缶を保管する共用プールラックの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規バスケットおよび収納缶製造中 ・共用プールラック設置完了

2. ①-2 制御棒の再移動

- 2020年7月19日,制御棒を北に移動を実施。
- 2020年7月25日,制御棒近傍にあった3体の燃料について,ガレキ撤去完了。

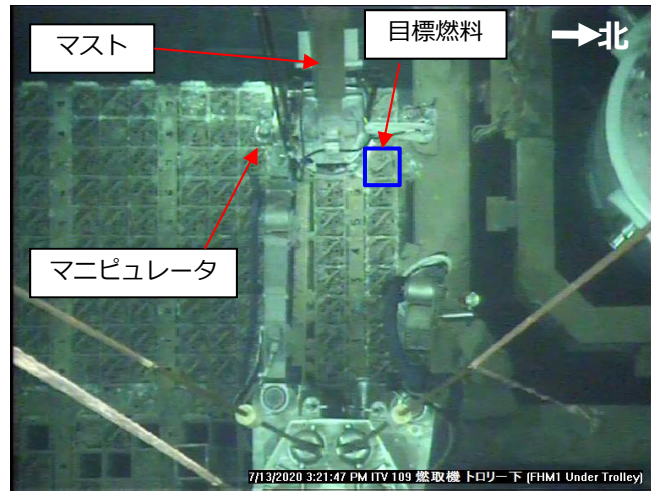


上部写真
(ガレキ撤去後)

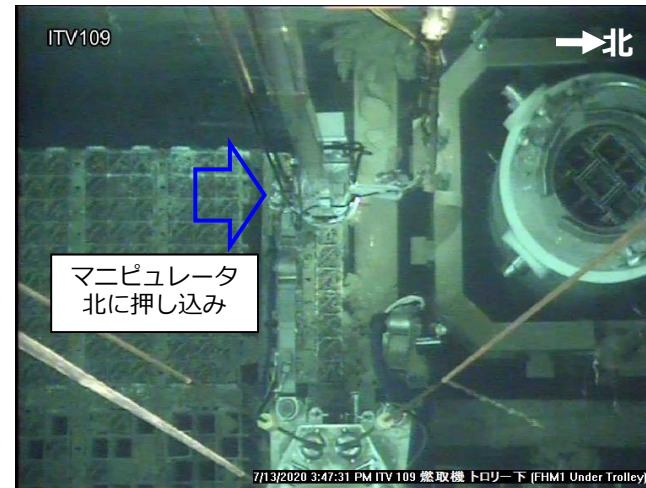


2. ②-1輸送容器洗浄配管近傍へのマストのアクセス確認

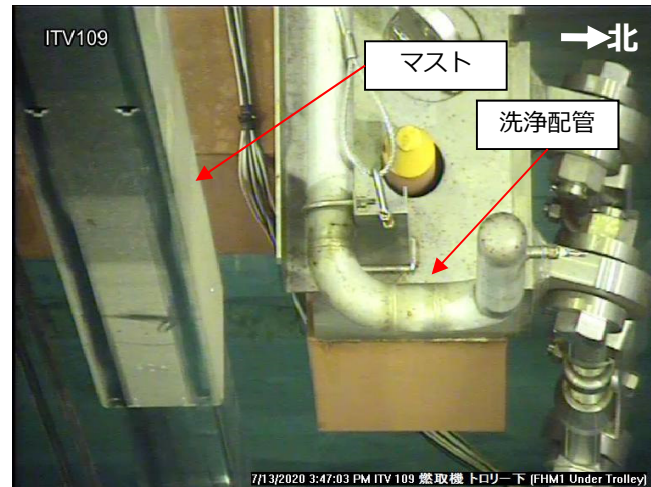
- マニピュレータでマストを北側に押し込んで傾けることで、輸送容器洗浄配管近傍の燃料を把持できることを確認した。また、マストを押し込んだ状態で燃料を問題なく引き抜き可能であることを模擬燃料で確認済み。



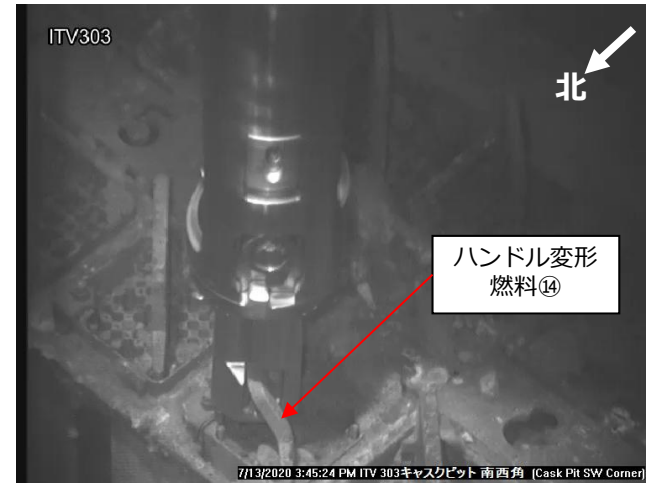
押し込み前



押し込み後



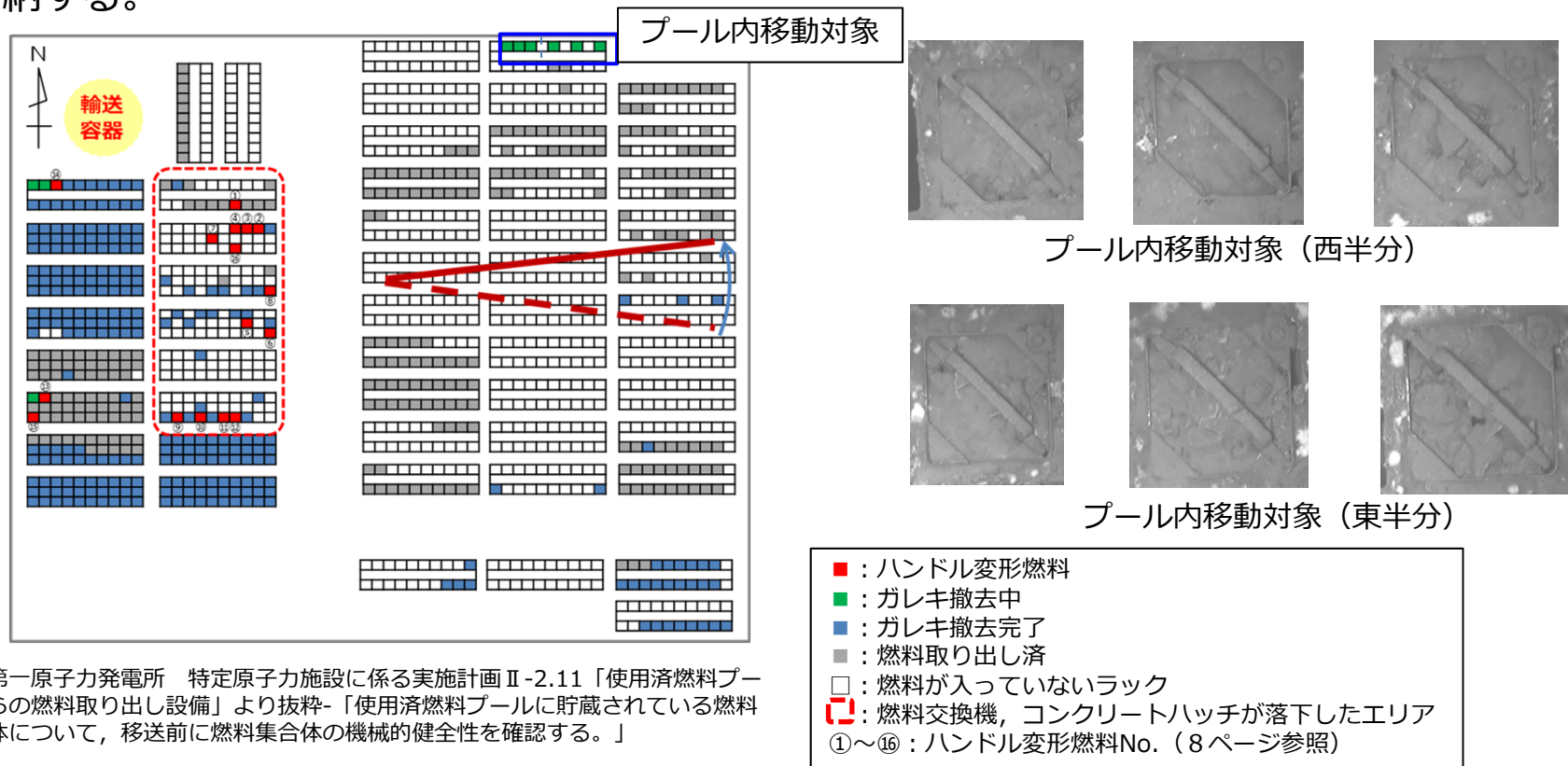
輸送容器洗浄配管との干渉状況（押し込み後）



把持確認（ハンドル変形燃料⑭）

3. 一部燃料のプール内移動

- プール端部に保管されている一部の燃料は、吸引装置を取り扱うFHM補助ホイストの運転範囲の制約のため、現在の位置ではガレキ吸引が十分にできない。そのため、プール内の別のラックに移動させた後、ガレキ吸引を行う。
- プール北端に位置する6体分の燃料について、プール内移動を予定（8月上旬頃）
- 移動先は、燃料取り出し済の位置から選定予定。
- なお、水中カメラ映像により、当該燃料に明らかなハンドル変形がないことを確認済み。上部のガレキ吸引後に治具を用いてハンドル変形有無の最終確認を行い、輸送容器に収納する。 ※



※：福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画Ⅱ-2.11「使用済燃料プールからの燃料取り出し設備」より抜粋-「使用済燃料プールに貯蔵されている燃料集合体について、移送前に燃料集合体の機械的健全性を確認する。」

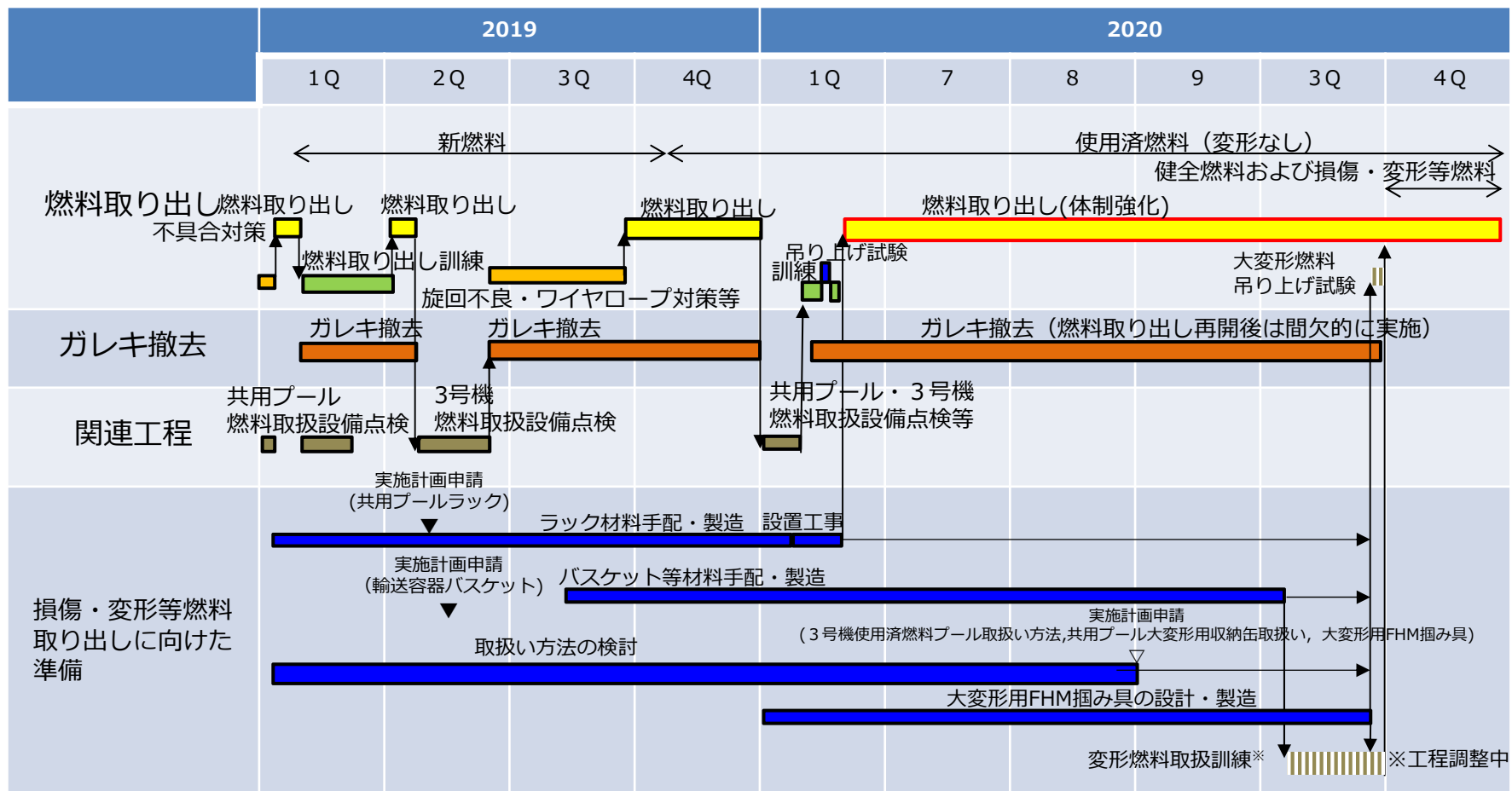
4. 課題対応のスケジュール

- 燃料取り出しの課題について、下記に示すスケジュールで対応を進める。
- ハンドル変形燃料については、準備が出来次第、複数回吊り上げ試験を行って行く

項目	課題	2020年						2021年		
		7	8	9	10	11	12	1	2	3
① ガレキ撤去中に確認した事項	①-1 変形した燃料ラック吊りピースが燃料掴み具と干渉	設計・製作・モックアップ						▽ 実機適用		
	①-2 (済) 制御棒の再移動	手順確認▽ 現場作業								
② 吊り上げ試験の結果を踏まえた対応	②-1 輸送容器洗浄配管とマストとの干渉	手順確認・訓練		▽対象燃料の燃料吊り上げ試験 (16体目のハンドル変形燃料も合わせて実施予定)						
	②-2および③-1 燃料とガレキまたはラックとの干渉解除	ハンドル強度試験		▽ラック上部ガレキ撤去,吊り上げ荷重見直しによる再吊り上げ試験 (ハンドル変形の無い燃料は吊り上げ荷重は変更しない)						
③ 規定荷重で取り出せない変形の無い燃料の対応	燃料とガレキまたはラックとの干渉解除	ラック上部の細かいガレキ撤去ツールの製作		新規装置の設計・製作・モックアップおよび 既存設備(ラック切断装置他)の事前点検,空きラックでの実機切断確認						
④ ハンドル変形燃料の対応	④-1 ハンドル変形の角度が大きい燃料を把持できる掴み具	製作				現地据付・試験・使用前検査			▽ 吊り上げ 試験 (対象4体)	
	④-2 ハンドル変形の角度が大きい燃料を収納できる収納缶	輸送容器バスケットの設計・製作		大変形用収納缶の設計・製作		現地搬入・使用前検査				

5. 燃料取り出しのスケジュール

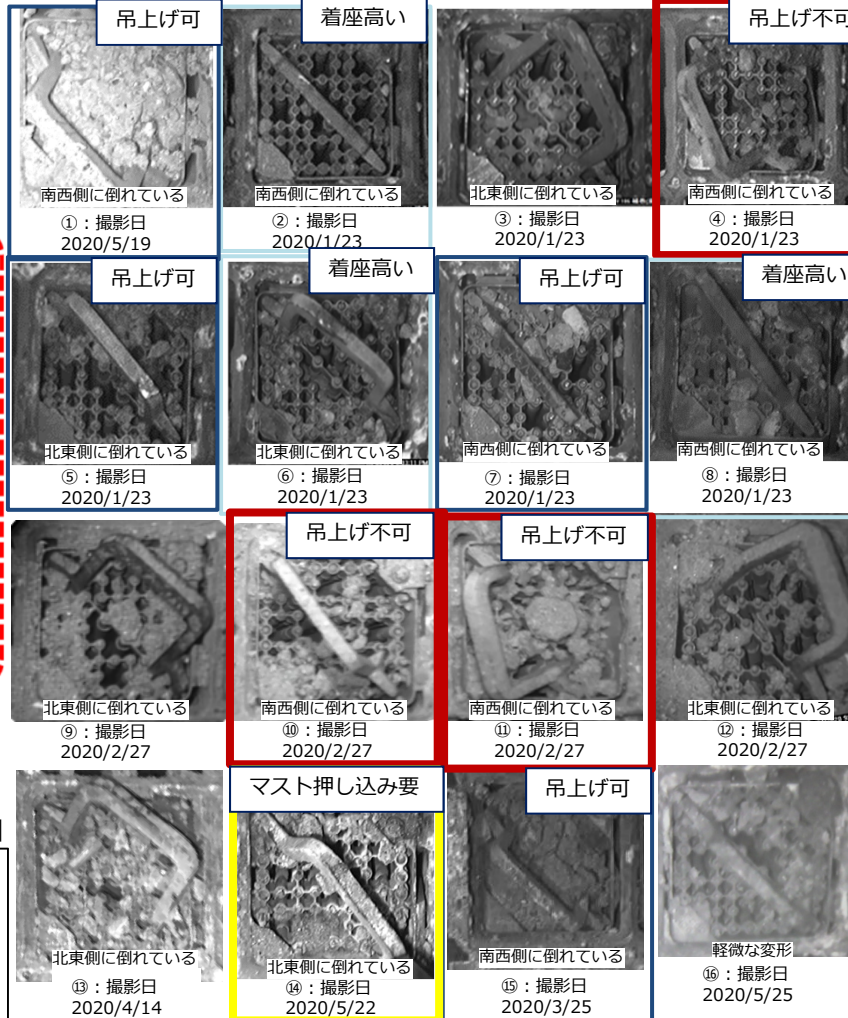
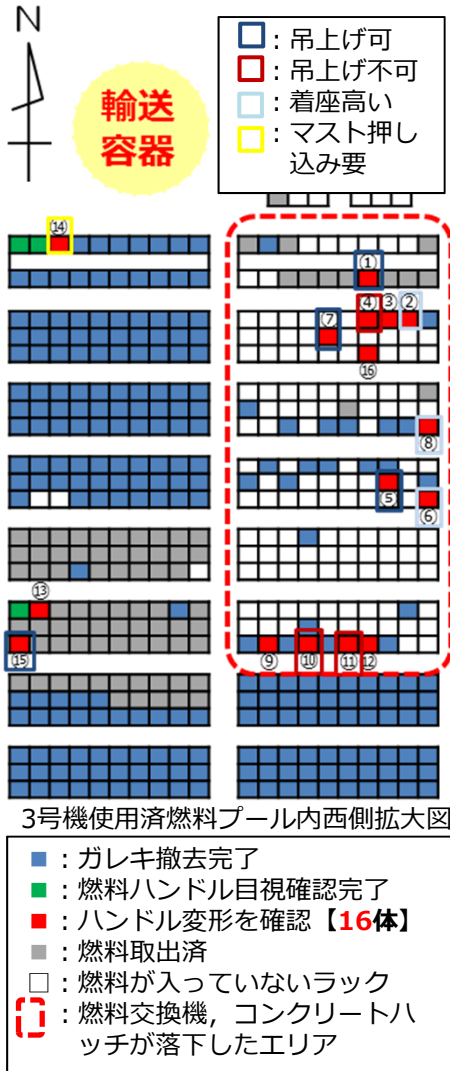
- 2020年5月26日より、燃料取り出しを再開している。
- ガレキ撤去を先行で進めたこと、並びに燃料取り出しの体制を強化することにより、2020年度末に燃料取り出し完了の見込み。
- 吊り上げ試験にて吊り上げることができなかったハンドル変形燃料の取り出し方法について早期に検討し、燃料取り出し工程に影響が出ないように対応していく。



【参考】 3号機SFP内燃料のハンドル状況の確認について

- 5月28日時点でハンドル変形を確認した燃料は16体。このうち既存FHM掴み具で把持角度を超過している可能性のあるハンドル変形燃料は4体（区分C分）。2020年12月頃に吊り上げ試験を実施予定。
- ④⑪は、吊り上げ試験の際に数度程度、ハンドル角度が元の位置側に戻ったが、模擬ハンドルによる引張り試験も実施しており、変形により強度上に問題は生じないことを確認済み。

ハンドル変形燃料取扱い区分



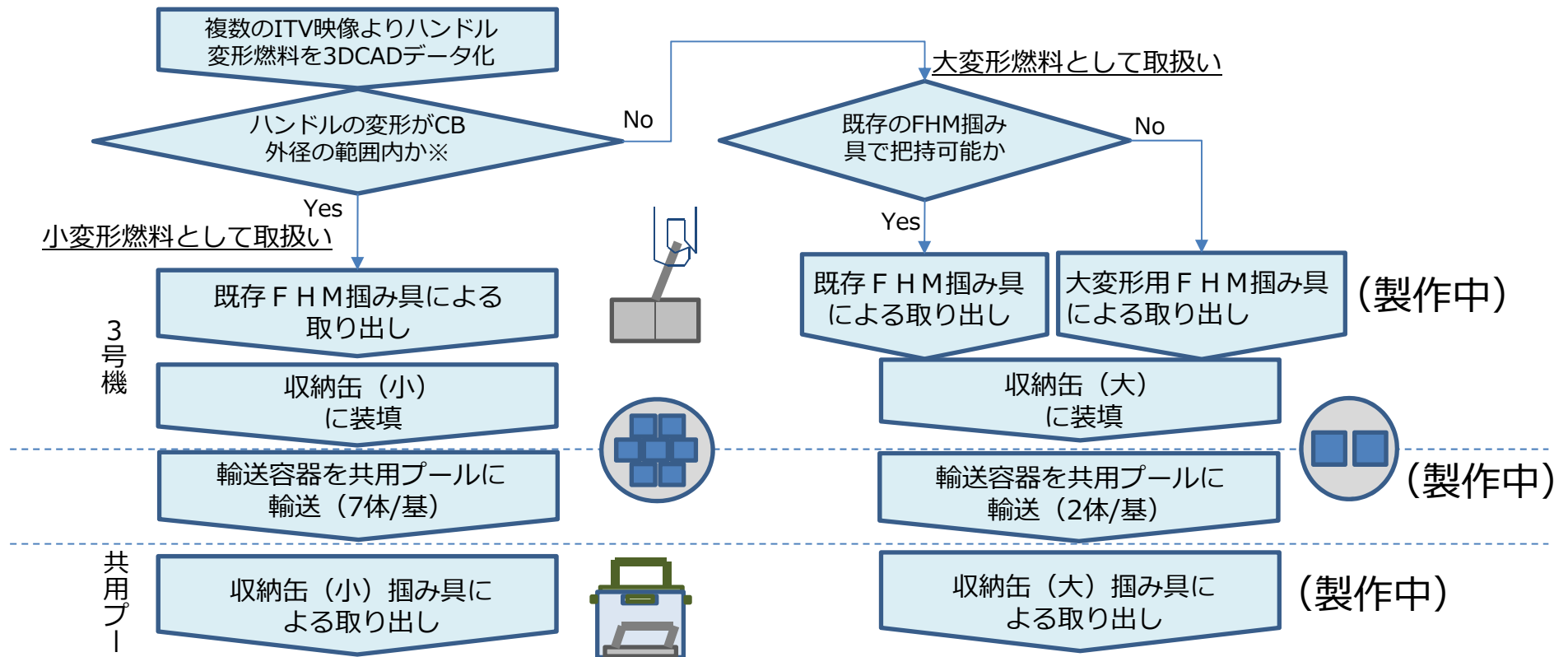
N o.	型式	ITVによる推定曲がり角度	変形方向	取扱い区分※1
①	STEP2	約10°	反CF側	A
②	9×9A	約10°	反CF側	A
③	9×9A	約40°	CF側	C
④	9×9A	約40°※2	反CF側	B
⑤	9×9A	<10°	CF側	A
⑥	9×9A	約10°	CF側	A
⑦	9×9A	約10°	反CF側	A
⑧	9×9A	約20°	反CF側	A
⑨	9×9A	約40°	CF側	C
⑩	9×9A	約10°	反CF側	B
⑪	9×9A	約60°※2	反CF側	B
⑫	9×9A	約60°	CF側	C
⑬	9×9A	約40°	CF側	C
⑭	9×9A	約20°	CF側	B
⑮	STEP2	<10°	反CF側	A
⑯	9×9A	<10°	-	A

※取扱い区分	A	B	C
収納缶	小	大	
掴み具	既存		大変形用

※1: ハンドルが北東側に倒れている場合は、チャンネルファスナが掴み具と干渉するため、把持可能な角度が小さい。
 ※2: 吊り上げ試験時に、ハンドルが数度程度曲げ戻ったことを確認している。


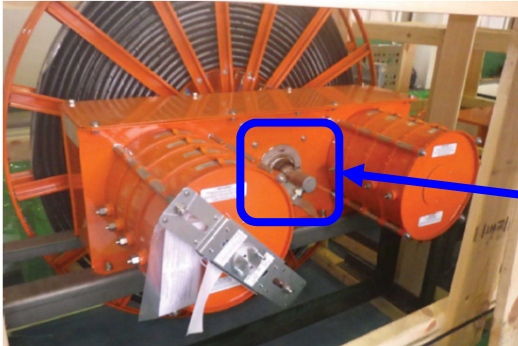
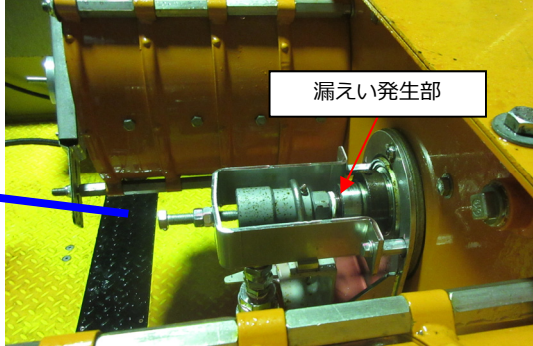
【参考】 ハンドル変形燃料の取扱い

- ハンドル変形燃料については、以下の流れで取り出しを実施する。
 - ✓ 3号機では、変形したハンドルを既存FHM掴み具で把持する。なお、変形量が大きい場合は、新たに大変形用FHM掴み具を用意する。
 - ✓ 輸送時は、ハンドルの変形量に応じて、収納缶を使い分ける。
 - ✓ 共用プールでは、収納缶ごと専用ラックに保管する。



※CB：チャンネルボックス。変形したハンドルがCB外径の範囲内に収まっていれば収納缶（小）と干渉なく収納可。複数のITV映像より3DCAD化し上方から確認し判断する。 9

【参考】クレーン主巻からの作動流体の漏えい

発生事象	クレーン主巻からの作動流体の漏えい
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 7/29 16:07 3号機使用済燃料が装填されたキャスクをオペフロから地上に吊りおろし中に、作動流体（水グリコール）の「漏えい警報」及びITVで作動流体（水グリコール）の滴下を確認。作業を一次中断。 ✓ キャスクの着座は完了。 ✓ 現場確認の結果、クレーン主巻の作動流体（水グリコール）ホース継手のねじ込み部に漏えいがあることを確認。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>クレーントロリ上</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース継手ねじ込み部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漏えい発生部</p> </div> </div>
<p>原因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 摺動部のねじ込み箇所のため、シールテープのシール性能低下と推定する。
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 7/30にシールテープの巻き直しにより復旧を行う予定。 ✓ 類似箇所の確認及び定期的な外観確認を継続する。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 作動流体が喪失した場合でも、吊り荷の状態は維持されるため、吊り荷の落下等につながる事象ではない。

3号機オペレーティングフロアの連続ダストモニタ計測値の事務局会議での報告終了及び公開場所の周知について

2020年7月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 毎月の廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議（以下、「事務局会議」という。）にて報告している3号機原子炉建屋オペレーションフロア（以下、「オペフロ」という。）の連続ダストモニタ計測値について、以下に記載する当初の報告目的を終了していることから、次回事務局会議から当該計測値の報告を終了する。
- なお、以前より実施している当社ホームページでの当該計測値の公開は、引続き実施する。
（公開場所：<https://www.tepco.co.jp/hd/>）

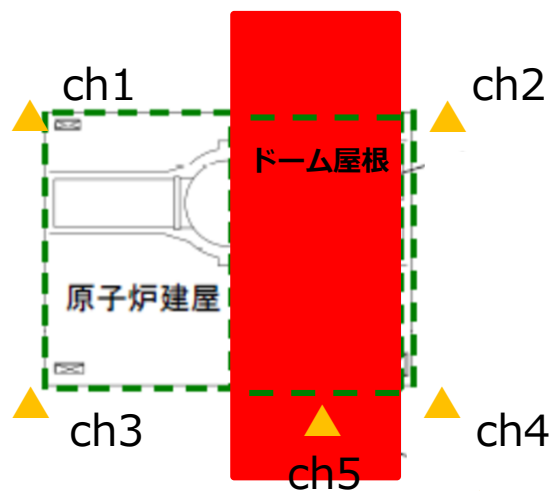
【当初の報告目的】

- ✓ 当該モニタを設置した2014年当時、オペフロは、水素爆発の影響でオペフロ面がむき出しであり、また、燃料取出し準備のため、ガレキ撤去、線量低減対策（オペフロ床面の除染及び遮へい体設置等）、ドーム屋根設置準備等の作業を実施していた。
- ✓ オペフロ作業においては、放射性物質が付着した粉塵が飛散する可能性のある作業日の作業前後に飛散防止剤を散布するとともに飛散防止剤の効果を確認するために当該モニタを設置し、放射性物質濃度を2014年10月より計測することとした。また、事務局会議でのご意見を反映し、2015年2月より当該モニタの計測値を報告することとした。

【その後の経緯】

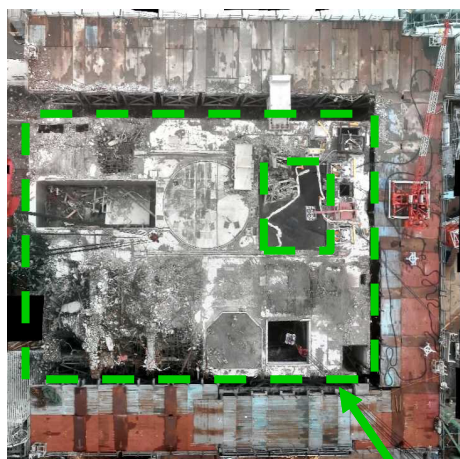
- ✓ 2016年6月にオペフロ床面の除染、また、2016年12月に遮へい体設置が完了したため、放射性物質が付着した粉塵の飛散する量が低減されたことから、遮へい体設置完了以降、飛散防止剤の散布については実施していない。（2017年1月の事務局会議でご報告。同会議後、公表済み）
- ✓ さらに、2018年2月にドーム屋根の設置が完了し、2020年6月現在、ドーム内では燃料取り出し作業を実施している。ドームの外側に設置されている当該モニタの計測値は、放射能高（1.00E-03）の値を十分に下回った値で推移している。（ドーム内の放射性物質濃度については、排気設備のフィルタを通し、出口側にて監視している）

【参考】 オペフロダストモニタ試料採取位置及び上空写真



オペフロダストモニタ試料採取位置 (図中▲)

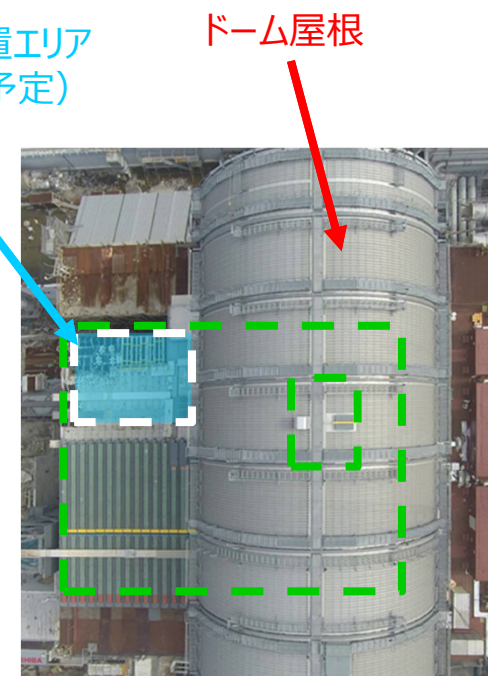
- ・ 原子炉建屋オペフロレベル (5階) : 4箇所 (Ch.1~4)
- ・ 原子炉建屋3階レベル : 1箇所 (Ch.5)



撮影：2014年3月3日



撮影：2016年12月12日

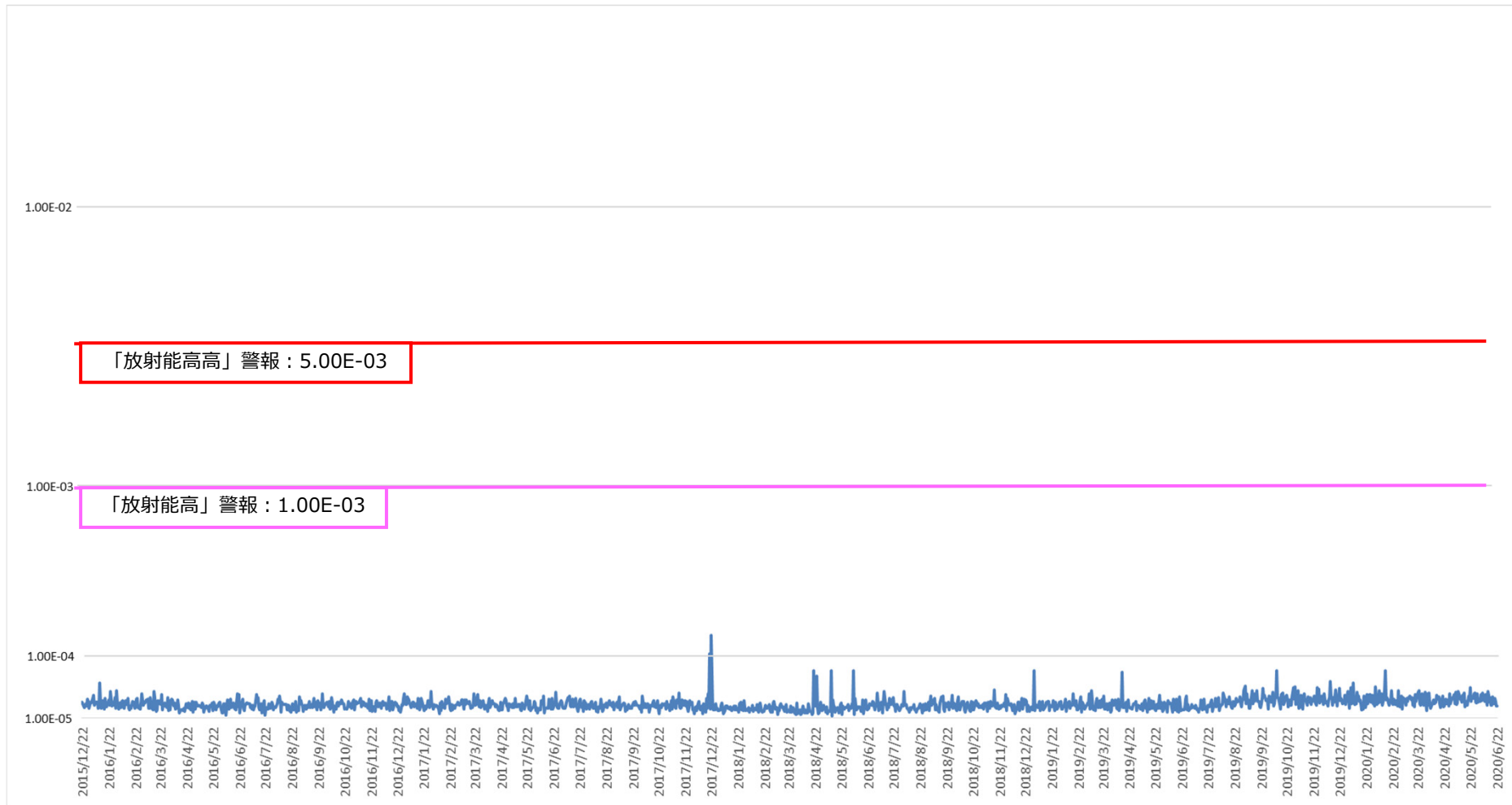


撮影：2018年2月22日

原子炉建屋及び遮へい体設置範囲 (SFP上除く)

【参考】 オペフロダストモニタ計測値

- 2015年12月22日～2020年6月22日現在において、「放射能高（高高含む）」警報値を十分に下回った値で推移している。



単位：Bq/cm³

2020年6月22日時点

※当該データは日々のオペフロレベル（Ch.1～4）の計測値（最大値）をグラフ化したデータ

【参考】 オペフロダストモニタ計測値確認方法



① 当社HP（東京電力HD）を開く。



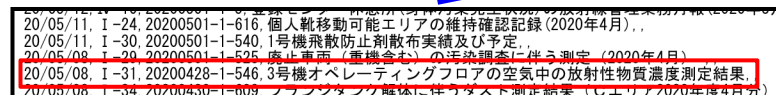
② 「福島への責任」、「データ」を選択。



③ 「福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果」を選択。

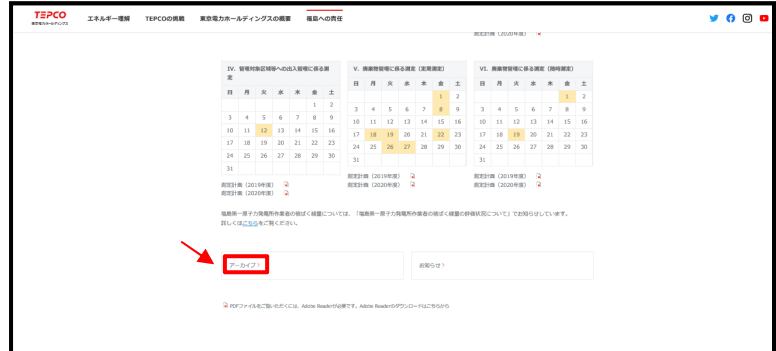


④ 更新履歴（CSV）を確認し、当該データ公開日を選択（データ掲載箇所：I. 管理対象区域内外の測定（定期測定））。



CSVデータ (拡大)

⑤ 過去分について、③選択後、最下部「アーカイブ」を選択、線量率等の測定計画および結果アーカイブにて「確認対象年月」を選択後、④を実施。



使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) 2011/3/11 時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料 貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	0	293	0	※1 293	48.2%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・2011/3/11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・2011/3/11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料の
1～6号機	494	4,002	230	4,726	25.6%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
乾式キャスク 仮保管設備	0	2,033	2,033	69.4%	2,930	キャスク基数37 (容量:50基)
共用プール	76	6,295	6,371	94.6%	6,734	ラック取替工事実施により当初保管 容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

赤字: 2020/7/2報告時からの変更点
63体の使用済燃料を3号機から共用プールへ
取り出し実施
※1: 7体の使用済燃料を輸送容器へ装填し、共用
プールへ輸送中(2020/7/30時点)



1号機飛散防止剤散布実績及び予定
3号機オペレーティングフロアの連続ダストモニタの計測値

2020/7/30



東京電力ホールディングス株式会社

1.定期散布（1号機）

定期散布	
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。
頻度	1回/月
標準散布量	1.5L/m ² 以上
濃度	1/10
散布範囲	<p>【凡例】 〰️ : 散布範囲</p> <p>約40m</p> <p>約30m</p> <p>オペフロ</p> <p>建屋カバー</p> <p>PN</p>
散布面積	1,234m ²

2.作業時散布・定期散布の実績及び予定（1号機）

作業時散布			
目的	オペフロ上での（ガレキ撤去や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする		
標準散布量	1.5L/m ² 以上	濃度	1/10
散布対象作業	北側ガレキ撤去		
定期散布の実績及び予定			
計画（7月）	実績（7月）	計画（8月）	
完了予定日：7月2・3日 PN	完了日：7月2・3日 PN	完了予定日：8月24・25日 PN	

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

2020年7月30日時点

3.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲	
6月	月	28 (日)	29 (月)	30 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	 2日 3日
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.33E-04 (最大) ND (最小)	1.57E-04 (最大) ND (最小)	1.02E-04 (最大) ND (最小)	1.02E-04 (最大) ND (最小)	1.66E-04 (最大) ND (最小)	1.33E-04 (最大) ND (最小)	1.06E-04 (最大) ND (最小)	
7月	月	5 (日)	6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木)	10 (金)	11 (土)	
	散布対象作業	-	ガレキ撤去	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	3	25※3	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	3.3	0.2※3	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.54E-04 (最大) ND (最小)	1.54E-04 (最大) ND (最小)	8.43E-05 (最大) ND (最小)	1.83E-04 (最大) ND (最小)	1.21E-04 (最大) ND (最小)	9.41E-05 (最大) ND (最小)	1.49E-04 (最大) ND (最小)	
	月	12 (日)	13 (月)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)	18 (土)	
	散布対象作業	-	-	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	
	散布面積合計 (m2)	-	-	3	-※2	3	3	3	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	3.3	-※2	3.3	3.3	3.3	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.64E-04 (最大) ND (最小)	9.67E-05 (最大) ND (最小)	1.01E-04 (最大) ND (最小)	1.33E-04 (最大) ND (最小)	2.77E-04 (最大) ND (最小)	1.18E-04 (最大) ND (最小)	1.02E-04 (最大) ND (最小)	
	月	19 (日)	20 (月)	21 (火)	22 (水)	23 (木)	24 (金)	25 (土)	
	散布対象作業	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	ガレキ撤去	
	散布面積合計 (m2)	3	-※2	3	3	3	3	3	
	平均散布量 (L/m2・回)	3.3	-※2	1.7	3.3	3.3	3.3	3.3	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.98E-04 (最大) ND (最小)	1.33E-04 (最大) ND (最小)	7.26E-05 (最大) ND (最小)	1.47E-04 (最大) ND (最小)	1.33E-04 (最大) ND (最小)	1.19E-04 (最大) ND (最小)	1.13E-04 (最大) ND (最小)	
	月	26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)	
	散布対象作業	ガレキ撤去	-	ガレキ撤去					
	散布面積合計 (m2)	3	-	3					
	平均散布量 (L/m2・回)	3.3	-	3.3					
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	8.23E-05 (最大) ND (最小)	1.98E-04 (最大) ND (最小)	1.83E-04 (最大) ND (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出

※2 作業途中からの天候不良によりクレーンを稼働させることができなかったため、作業後の飛散防止剤散布はなし。なお、ダストモニタに有意な変動がないことを確認。

※3 機器動作確認のため、飛散防止剤を散布。ガレキ撤去作業はなし。

2020年7月28日時点

4.オペレーティングフロアの連続ダストモニタの計測値 (3号機)



								当該週の散布範囲	
日	28 (日)	29 (月)	30 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	7.02E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	5.25E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.69E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	5.74E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.08E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.55E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.68E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)		
日	5 (日)	6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木)	10 (金)	11 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	5.08E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.89E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.68E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	5.46E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.56E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.77E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.60E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)		
日	12 (日)	13 (月)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)	18 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	4.36E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.27E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.36E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.07E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.58E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.26E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.88E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)		
日	19 (日)	20 (月)	21 (火)	22 (水)	23 (木)	24 (金)	25 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	5.06E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.69E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.76E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	5.95E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.44E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.63E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.31E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)		
日	26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	2.83E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	4.22E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		
日	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)		
散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-		-
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=不検出

2020年7月28日時点

※4 遮へい体設置完了に伴い定期・作業時散布は終了